

# 水稲 発生に注意すべき病害虫

## ■ ウンカ類

- 多数の個体が集団でイネの株元から吸汁する。主にセジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカの3種が被害を与える。
- トビイロウンカとセジロウンカは国内では越冬できず、毎年梅雨時期に中国大陸から飛来する。
- トビイロウンカは「秋ウンカ」と呼ばれ、盛夏～秋口にかけて水田で急激に増殖し、通称「坪枯れ」と呼ばれる枯死害を広範囲に渡って引き起こすことがある。令和2年に府内でも大発生した。



▲坪枯れ被害の様子(令和2年10月)



▲イネを吸汁加害するトビイロウンカ



▲トビイロウンカの長翅型成虫



▲セジロウンカの長翅型成虫



▲ヒメトビウンカの長翅型成虫



▲トビイロウンカの幼虫



長翅型成虫実物大イメージ  
(体長約5mm程度)

写真1・2は農研機構九州沖縄農業研究センター撮影、写真3は「ウンカ防除ハンドブック(農文協)」より引用